

皆様新年明けましておめでとうございます。

年末年始は如何お過ごしでしたか。本使はダカールで年を越しましたが、年越しの直前に各所から花火の音が聞こえてきて街は賑やかでした。カウントダウンのお祭りをしていたのでしょうか、予期していなかったのでとても興味がわきました。来年は見に行きたいと思います。

昨年はサル大統領の訪日という、日本とセネガルの関係においてとても重要なイベントで一年を終えることができました。

サル大統領は、12月19日に岸田総理との首脳会談とワーキングランチを行い、午後には日本経済界の代表者やアフリカ議連の先生方との懇談等を行いました。

首脳会談では経済協力やビジネス関係の強化、人的交流の促進が話され、また国際情勢についても踏み込んだ意見交換が行われました。両国の首脳が胸襟を開いて時間をかけて二国間関係や国際情勢についてしっかりと意見交換を行ったことは、両国間の相互理解と協力を深める上で大変意義あることでした。

今回発表された日セネガル共同声明では、二国間関係を包括的に進めていくこと、国際問題へ協力して対応していくこと等が表明されています。1年前の着任の挨拶でも申し上げましたが、本使としては、今日のセネガルの発展状況に鑑み、セネガルとの関係をODAの協力を留まらず、ビジネスや人的交流等の幅広い分野で包括的に進める時期に来ていると考えています。今回の共同声明ではそうした大きな方向性を示すことができ、二国間関係を更に高めていくための良い基盤ができたと考えています。

お客様を厚迎するのは日本の美德ですが、サル大統領ほか同行されたタル外務大臣やサール経済大臣も今回の日本側の官民挙げての歓待に本当に満足されているようでした。

年初めの4日にはサール元駐日大使への叙勲式を行いました。

サール大使は2001年から約10年間、駐日大使として活躍されました。日本語を習得され、日本の社会や文化に深い理解を示され、二国間関係の発展に尽力されました。叙勲式にはンジャイ大統領府儀典長等、大使縁の方々が集まりましたが、多くの方々が日本と何らかの関わりを持たれていて、さながら親日セネガル人の同窓会のような雰囲気でした。日本との関係に尽力された大使の功績に対して叙勲という形で日本政府の謝意を伝えることができ、良かったと思います。

年末の大統領訪日からサール大使への叙勲と、今年はおめでたいイベントから始まりました。今年も大使館職員一同、セネガルとの関係の強化に尽力して参ります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。